

2026年度 産業応用のための基礎化学講座

「応用をやるには、基礎をやれ」 福井謙一博士が“終生の師”と呼び化学の道に進むきっかけを作られた喜多源逸博士の言葉です。喜多博士は本学化学系における基礎重視の学風を築かれた方でもあります。2018年の福井博士生誕百年をきっかけとして、喜多博士に源を発するこの伝統を再認識し、産業で研究開発を行っておられる技術者・研究者の方を対象とした「産業応用のための基礎化学講座」を2019年度より開講しております。

最先端化学を理解するための基礎概念や実験的手法の原理等を習得する全6回の講座内容となっています（詳細は裏面）。各回、懇親会も予定しております。ぜひ、ご参加ください。

対象：企業において研究開発に携わっておられる方

2026年10月～2027年1月

全6回12コマ（1コマ90分）

京都大学福井謙一記念研究センター

3F 大会議室 / ハイフレックス (Zoom)

〒606-8103

京都市左京区高野西開町34-4



各回、オンライン（Zoom）でも受講いただけます。
オンラインでご参加される回については、その都度、URLをお知らせします。

最新の情報ならびにWEB申込につきましては
以下のURLをご参照ください。

<https://www.fukui.kyoto-u.ac.jp/openlec2026>

受講料：全6回10,000円

1回毎にお申込の場合は各回2,500円

（懇親会会費は別途徴収）

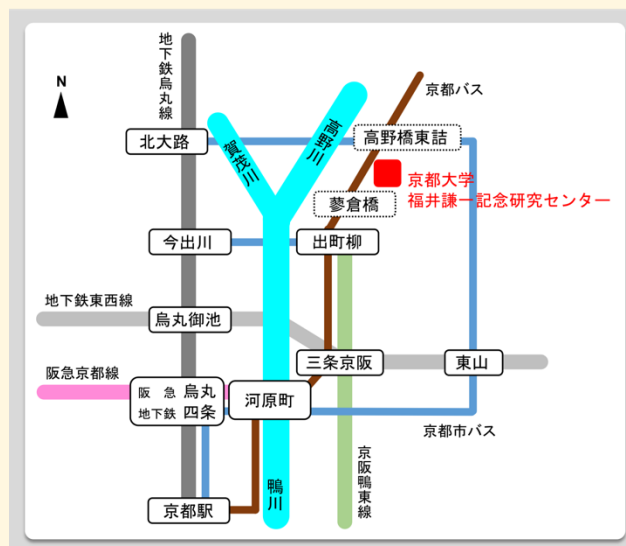


お支払い後のご返金は致しかねますので
あらかじめご了承ください。

希望回の1週間前までにお申込ください。
定員になり次第、締め切らせていただきます。

主催：京都大学福井謙一記念研究センター

後援：公益社団法人日本化学会



本講座では、最先端の研究とその底流にある基礎を学ぶことを通じて、企業での研究開発にも役立つと思われる知識や技術を習得していただくことを目指します。



【講座内容】

第1回 2026年10月7日（水）

生越 友樹（京都大学大学院工学研究科 教授）

超分子化学と超分子材料：分子認識から機能性材料への展開

13:30～16:45 講義（2コマ） 17:00～18:00 懇親会

第2回 2026年10月30日（金）

塩崎 亨（QSimulate 共同創業者・CEO）

QIDO：マーケット駆動型の材料・創薬量子イノベーション・プラットフォーム

13:30～16:45 講義・実習（1コマずつ） 17:00～18:00 懇親会

第3回 2026年11月18日（水）

陰山 洋（京都大学大学院工学研究科 教授）

複合アニオン化合物の合成、機能物性

13:30～16:45 講義（2コマ） 17:00～18:00 懇親会

第4回 2026年12月4日（金）

菅瀬 謙治（京都大学大学院農学研究科 教授）

流れの中で物質はどう変わるか — タンパク質の凝集からバターまでをNMRで見る —

13:30～16:45 講義（2コマ） 17:00～18:00 懇親会

第5回 2026年12月25日（金）

若宮 淳志（京都大学化学研究所 教授）

ペロブスカイト太陽電池の実用化のための基礎化学

13:30～16:45 講義（2コマ） 17:00～18:00 懇親会

第6回 2027年1月15日（金）

谷口 正輝（大阪大学産業科学研究所 教授）

分子を電気で読む：基礎化学から拓く生体分子シークエンサー

13:30～16:45 講義（2コマ） 17:00～18:00 懇親会